

彦 聖美 学科長・教授  
博士(看護学)

Kiyomi Hiko

✉ kiyomi.hiko@komatsu-u.ac.jp

研究  
Keyword在宅看護学、男性介護者、多胎児家庭、エンドオブライフケア、  
死生観

## プロフィール

2010年 石川県立看護大学大学院 博士後期課程実践看護学領域Ⅳ(コミュニティ) 修了  
2008年 石川県立看護大学 看護学部 在宅看護学 助手  
2010年 石川県立看護大学 看護学部 在宅看護学 講師  
2013年 石川県立看護大学 看護学部 在宅看護学 准教授  
2016年 金城大学 看護学部 看護学科 教授  
2024年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 教授

## 研究分野

地域・在宅看護学 / エンドオブライフケア

## 所属学協会

日本公衆衛生学会、日本疫学会、北陸公衆衛生学会、日本健康学会、日本在宅ケア学会、  
日本エンドオブライフケア学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本ホスピス・在宅ケア研究会、  
日本ルーラル看護学会、日本災害看護学会、日本小児保健協会、石川県小児保健学会、  
International Family Nursing Association

## 専門分野・研究分野

## 当事者支援と研究を両立するモデルの構築

男性介護者支援・多胎児家庭支援の研究では、地域看護学・公衆衛生学をベースに、根拠に基づいた支援の実践と評価を目的とした地域参加型実践研究:Community-Based Participatory Research (CBPR)に取り組んでいる。「男性介護者」や「多胎児家庭」を課題の多い集団として焦点化し、実態把握調査と当事者との協働を通して真のニーズを把握し、介護や育児の破綻などのリスクを未然に防ぐことを目指す。さらに、死生観研究・エンドオブライフケア研究で、一人一人が望むような人生の最期の実現に向けた分野横断的・領域横断的なエンドオブライフケアモデルの構築を目指している。

## 研究内容

## 課題が多い人・集団に対する支援のユニバーサルデザインを目指す

## 1. 男性介護者研究と支援

男性介護者は、日本文化に根強い性別役割意識を背景に、孤立しやすいため、健康や生活がいきなり破綻するリスクが高い。困難が多い男性介護者に対する支援の充実、介護者支援のバリアフリー(マイナスをゼロにする支援)からユニバーサルデザイン(ゼロからプラスにする支援)を目指すことになり、結果的に、女性も含めた家族介護者全体の支援に寄与する。

## 2. 多胎児家庭研究と支援

多胎児家庭は、健康課題や生活課題が単胎児家庭よりも格段に多く、予防的に困難を減らす支援を充実することは、多様な課題やニーズに先んじて対応する。2016年から「ふたご手帖プロジェクト」で、妊娠が分かった時から出産、育児まで、必要な情報や支援を網羅した「ふたご手帖」を作成し、全国普及活動を展開している。

## 3. 死生観・エンドオブライフケア研究と支援

一人一人が人間として、自分自身の暮らしの在り方を見つめ、やがて来る死までをどう生きるかについて考える機会や場を創り、集い、ともに語り合っていくエンドオブライフケアの研究と実践を推進する。

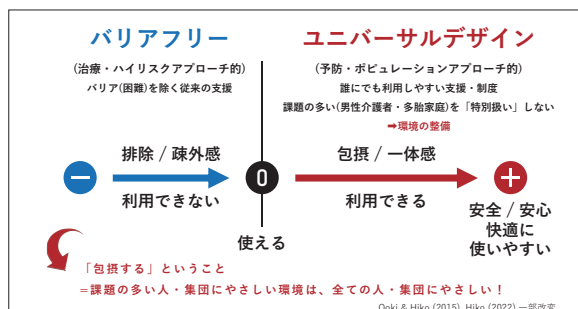
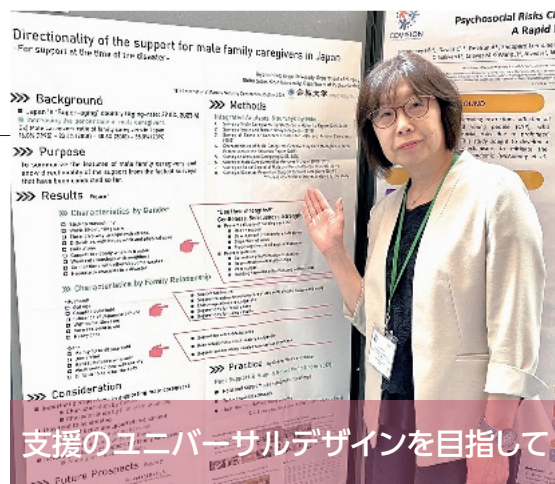


図1. 支援のユニバーサルデザイン



## シーズ・地域連携テーマ例

- 男性介護者研究と支援
- 多胎児家庭研究と支援
- エンドオブライフケア研究と意思決定支援

## 受賞

- 2022年6月 小児保健協会 2021年度小児保健協会最優秀論文賞受賞

## 論文

- 8都道県の男性介護者実態調査, 彦 聖美, 日本健康学会誌, 88 (2), 68-79, 2022
- 認知症家族への支援—介護者支援のユニバーサルデザインを目指して—, Yamanashi Nursing Journal, 21 (1), 1-6, 2022
- 乳幼児期双生児の発育曲線と運動発達, 小児保健研究, 80 (3), 404-411, 2021
- 北陸3県の介護支援専門員が捉える男性介護者の特徴, 日本在宅ケア学会誌, 22 (2), 56-63, 2019
- ドイツの高齢者医療・介護における事前医療指示書, ホスピスケアと在宅ケア, 23 (1), 26-33, 2015

## 書籍等出版物

- 看護学テキストNiCe、地域・在宅看護論Ⅱ, 南江堂, 2024.1
- 新 現場で役立つラクラク成長曲線, 診断と治療社, 2023.8
- Contributions to the Local Community Through the University: Chapter2 Community health and longevity project, Intech Open, 2022.3
- よくわかる看護研究の進め方・まとめ方 第3版, 医歯薬出版株式会社, 2017.4
- Public Health-Social and Behavioral Health: Strategy and Practice of Support for Families with Multiple Births Children, Intech Open, 2012.5

## 講演・口頭発表等

- 男性介護者世帯に対する防災対策支援の実態調査(第三報), 第82回日本公衆衛生学会総会, 2023.11.11
- Directionality of the support for male family caregivers in Japan- For support at the time of the disaster, 16th International Family Nursing Conference, 2023.6.21
- 学会特別講演: 認知症家族への支援—介護者支援のユニバーサルデザインを目指して, 第21回山梨大学看護学会学術集会, 2021.11.6

## 競争的資金等の研究課題

- 認知症高齢者を介護する男性の統制別特徴を踏まえたエンドオブライフケアモデルの構築, 文部科学省科学研究費補助金基盤(C), 研究代表者, 2024-2027
- 高齢期の妻や親を介護する男性介護者世帯に対する災害時の健康管理と共助に関する研究, 文部省科学研究費補助金基盤研究(C), 研究代表者, 2019-2023

## 社会貢献活動

- 男性介護者と支援者の全国ネットワーク(男性介護ネット) 北陸ブロック世話人(2019~)
- 日本エンドオブライフケア学会理事(2018~)